

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年11月20日～11月26日)

平成 26 年(2014 年)11 月 28 日

H E A D L I N E S

政治

統一地方選挙の集計作業を巡り混乱
 コモロフスキ大統領、モルドバを訪問
 国家選挙委員会、県議会選挙の最終結果を発表
 コモロフスキ大統領、訪日を延期
 クピエツキ国防次官の訪中

経済

OECDが経済見通しを下方修正
 10月の鉱工業生産は伸び悩む
 10月の失業率は11.3%
 10月の新規受注は大きく増加
 消費は増加傾向が続く
 自動車産業がポーランド経済を牽引
 コンパニア・ヴェングロヴァ社タラスCEOの解任
 EBRDによる再生可能エネルギー導入支援
 発電設備容量を18GWまで拡大する計画
 ポーランド国内炭鉱維持のために数十億ズロチの政府支出が必要

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ
 領事アンケートへの御協力について
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

統一地方選挙の集計作業を巡り混乱【19日～25日】

16日に実施された統一地方選挙では、集計作業において情報システムに障害が発生したため県議会選挙等の結果発表が大幅に遅れ、ポーランド国内に大きな混乱をもたらした。19日、最大野党「法と正義」(PiS)及び民主左翼連合(SLD)は、集計作業の遅れという過ちは大きすぎるとの認識を示し、新しい選挙を早期に実施するよう訴えた。20日には、国家選挙委員会に集計作業の混乱に不満を有する右派グループが同委員会の建物に侵入する事案が発生した。また、19日にチャブリツキ国内選挙局長が、21日にヤヴォルスキ国家選挙委員会委員長及びその他の同委員会メンバーが辞意を表明した。これらの動きを受け、コモロフスキ大統領は、24日に現職及び歴代の憲法裁判所長官との会合、25日に国家選挙委員会委員長との会談等を行うと共に、国民に対し、今次選挙が有効であるとの認識を明確に示した上で、まずは11月30日の首長選挙の決選投票を終えることが重要であり、その後に国家選挙委員会

の状況の安定化、集計の情報システムの問題等の分析、選挙法改正案を策定するための協議・協力を行っていく必要がある旨述べ、冷静な対応を呼びかけた。

国家選挙委員会、県議会選挙の最終結果を発表【22日】

22日、国家選挙委員会は、16日に実施された県議会選挙の最終結果を全て発表した。最終結果では、得票率では「法と正義」(PiS)が26.85%、市民プラットフォーム(PO)が26.36%、農民党(PSL)が23.68%、民主左翼連合(SLD)が8.78%となり、PiSが第1党となったが、16県の県議会全体の議席獲得数では、POが179議席、PiSが171議席、PSLが157議席、SLDが28議席となり、16日の出口調査とは異なり、POが実際の議席数で勝利する結果となった。なお、今次県議会選挙では、無効票の割合が17.9%と前回の12.1%から大幅に増加したことにも注目が集まった。

外交・安全保障

コモロフスキ大統領、モルドバを訪問【20日】

20日、コモロフスキ大統領はモルドバを訪問し、ティモフティ大統領及び同国を訪問中のポロシェンコ・ウクライナ大統領と会談を行った。コモロフスキ大統領は、会談後に、ポーランドはモルドバ及びウクライナの親欧州路線を支持している、30日にモルドバ議会選挙が行われるが、ポーランドは西側社会の構造の中により深い根を下ろしたいというモルドバの意思を支持している旨述べた。

コモロフスキ大統領、訪日を延期【21日】

11月21日、大統領府は、11月25日～27日に予定されていたコモロフスキ大統領の訪日が、国家選挙委員会及び地方選挙を巡る状況に関する問題への大統領の活動の予定に関連して、別の時期に延期された旨

発表した。

クピエツキ国防次官の訪中【27日】

クピエツキ国防次官は、中国との「政治及び防衛対話」を開始することを主な目的として24～26日にかけて訪中した。今年9月にワルシャワで実施されたポーランド・中国国防大臣会談を皮切りに両国の対話が始まり、訪問中、クピエツキ国防次官は、王冠中・国民解放軍国防部副参謀長と両国の軍協力及びアジア太平洋地域、ヨーロッパ、中近東の安全保障環境の変化について意見交換をした他、北京にある国防大学及び欧亜開発研究所関係者と意見交換をし、人民解放軍の部隊を訪問した。

経 済

経済・財政政策

OECDが経済見通しを下方修正【25日】

OECDは最新の経済観測を発表し、更なる追加利下げの可能性を理由として、今後の経済成長予測を、2014年は3.3%、2015年は3.0%、2016年は3.5%と修正した。半年前の発表では、2014年は

3.0%、2015年は3.4%としていた。国内需要の改善と輸出市場の回復の両方が経済成長を牽引していくと見られており、物価については現在の停滞傾向が落ち着いた後に上昇するとしている。

マクロ経済動向・統計

10月の鉱工業生産は伸び悩む【20日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の鉱工業生産は前年同月比で9月の同3.5%増から増加の割合は減少した1.6%増となっている。季節調整後の数値では同1.5%増。前月比でも、9月の同16.5%増に対し3.5%増となっている。

10月の失業率は11.3%【25日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の失業率は前月の11.5%及び前年同月の13.0%より減少した11.3%となっている。また、10月末の登録失業者数は前年同期より12.5%減少した178万4,800人、新規求人は、9月の11万6,800人より減少した9万7,900人となっている。10月は、77の組織・団体が近い将来公共部門1,600人を含む3,100人を解雇すると発表しており、前年同月の79組織・団体による公共部門100人を含む3,400人より公共部門の解雇予定が増加している。

10月の新規受注は大きく増加【25日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の新規受注は、前年同月比で9月の同0.5%減から大きく増加した1.8%増となっている。前月比では9月の同25.0%増から減少した0.9%減。新規輸出受注は、前年同月比で9月の同2.6%減から増加した2.1%増、前月比では9月の32.3%増から減少した5.4%減となっている。

消費は増加傾向が続く【25日】

中央統計局(GUS)によれば、10月の小売販売は、前年同月比で9月の同1.6%増から更に増加した2.3%増となっている。実質ベースでは同3.7%増。また、前月比では9月の同0.9%減から回復した4.2%増となっている。

ポーランド産業動向**自動車産業がポーランド経済を牽引【25日】**

経済省はポーランドの自動車産業の概要について報告書を発表している。同報告書によれば、ポーランドの自動車産業の規模として、年間1,100億ズロチ規模の売り上げと45億ズロチ程度の投資

を受け入れているという。さらに、製造企業は1300以上あり、貿易や販売・サービス等の関連企業は85,000社に上るといふ。製造企業のうち殆どが中小・零細企業とされている。

エネルギー・環境**コンパニア・ヴェングロヴァ社タラスCEOの解任【21日】**

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社の監査役会は、タラスCEOの経営再建策の効果が不十分であるとして無記名投票を行い、同氏の解任を決定した。リカラ副社長が職務を代行する。タラスCEOを巡っては、KW社の労働組合がかねてから同氏の解雇を求めている。

KW社に対しては、ピエホチンスキ副首相兼経済大臣も一層のコスト削減と石炭生産・販売効率の向上を経営層だけでなく従業員も含めてつとめることが急務であると発言している。

EBRDによる再生可能エネルギー導入支援【21日】

欧州復興開発銀行(EBRD)は、ポーランドにおける再生可能エネルギー導入支援策を導入することを発表した。この支援策は、2018年に500MWを導入することを目指すもので、少なくとも100万トンのCO2削減が期待される。対象としては、風力を中心とする再生民間ファンドによる投資を促進するとともに系統連結事業者の支援も目的とする。EBRDの発表によれば、ポーランドの再生可能エネルギーの設備容量を2倍にし、2030年までのEU

の導入目標を達成するには100億ユーロの投資が必要としている。

発電設備容量を18GWまで拡大する計画【25日】

エネルギー規制局(URE)の発表によると、2014年から2028年にかけて、ポーランドのエネルギー企業は発電設備容量を18GWまで増やすことを計画している。その一方で、5.2GWの発電設備を順次閉鎖する。同期間の発電設備近代化のための投資額として、121.6億ズロチが計画されている。新規導入されるエネルギーを種類別に見ると、風力(約40%)、石炭火力(約32%)及びガス火力(約22%)が最も大きかった。なお、今回UREが調査した企業には原子力発電や洋上風力発電についての回答はなかった。

ポーランド国内炭鉱維持のために数十億ズロチの政府支出が必要【26日】

格付け会社のスタンダード&プアーズ社によると、2015年から2016年にかけて、ポーランドの国内炭鉱産業の保護のために数十億ズロチの政府支出が必要と報告書の中で述べている。石炭価格の下落に加え、EUの新しい気候変動・エネルギー目標においては、ポーランドのエネルギーミックスにおける石炭の重要性は低くなっていくものと見られて

いる。同報告書においては、そうした背景を踏まえつつ、国内炭の消費減によりいっそう輸入炭に頼

ることになるだろうと述べている。

大使館からのお知らせ

在外選挙のお知らせ

12月3日から6日まで、当館にて第47回衆議院議員総選挙に伴う在外投票が行われます。詳しくは当館のホームページを御覧下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思います。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.deliver.mofa.go.jp/m?f=1114>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】私の目で見たポーランドの都市【10月～12月】

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見たポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所: ヴロツワフ市, ul. Kielbasnicza 31

【開催中】「竹と漆」池田巖展【10月27日(月)～1月4日(日)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『竹と漆』池田巖展が開催中です。池田巖氏による竹と漆の素材の魅力をひきだした作品が展示されています。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha マンガ, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/25>

【開催中】荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュックの写真展示会【11月7日(金)～12月14日(火)】

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催中です。

開催場所: ワルシャワ, ライカギャラリー, ul. Mysia 3

詳細: <http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

【予定】国際フルコンタクト空手選手権大会『Oyama Cup』【11月29日(土)】

ミエンジズドロイエ市にて、スポーツクラブ『武士道』主催による国際フルコンタクト空手選手権大会『Oyama Cup』が開催されます。

開催場所: ミエンジズドロイエ市, Hala sportowa im. Andrzeja Grubby przy Szkole Podstawowej Nr 1, ul. Lesna 17

詳細: <http://www.bushido.fn.pl/>

【予定】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日(日)～5月18日(月)】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所: クラクフ, 日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】クラクフ・フェンシングクラブ剣道部古流館道場設立35周年記念【12月5日(金)～12月7日(日)】

クラクフにて、『クラクフ・フェンシングクラブ剣道部古流館道場設立35周年記念』が開催されます。剣道・居合道のデモンストレーションと茶会が予定されます。

開催場所: クラクフ, Hala AWF, al. Jana Pawla II

詳細: <http://www.kks.krakow.pl/d/start>

【予定】第8回武道ガラ「ココロカップ2014」【12月6日(土)】

ワルシャワにて、ビエラニ極真空手クラブ主催による『第8回武道ガラ「ココロカップ2014」』が開催されます。

開催場所: ワルシャワ, Hala sportowa, ul. Staffa 3/5

詳細: <http://kokorocup.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)